

令和4年度病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ハダニ類)

令和4年12月12日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

- (1) 県内巡回定点におけるカンザワハダニの越冬量は、1バンドあたり平均0.8頭（平成：8.1頭）で平成並となっている。
- (2) ナミハダニの越冬量は、1バンドあたり0頭（平成：0.3頭）で平成に比べて少ない。
- (3) クワオオハダニの越冬卵数は1短果枝当たり1.8個（平成：0.3個）で平成に比べてやや多い。

表1 ナシにおけるハダニ類の越冬量

調査地点	カンザワハダニ（成虫）*			ナミハダニ（成虫）*			クワオオハダニ（越冬卵）			
	本年	前年	平成**	本年	前年	平成**	本年	前年	平成**	
東部	鳥取市 佐治町****	0	0	-	0	0	-	10.9	38.0	-
	鳥取市 青谷町***	0	0	-	0	0	-	2.8	20.0	-
	八頭町	0	15.3	40.1	0	13.7	1.8	0	0	0
中部	倉吉市 中野	0	0	0.1	0	0	0	0	2.4	0.2
	湯梨浜町 別所	6.8	0	0.3	0	0	0.1	2.3	0.0	0.8
	北栄町 由良宿	0	0.3	0.0	0	0.7	0.1	0	0	0.3
	琴浦町 竹ノ内	0	0.7	8.3	0	1.0	0.1	0	0	0.3
西部	大山町 松河原***	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	南部町 朝金	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
県平均		0.8	1.8	8.1	0	1.7	0.3	1.8	6.7	0.3

*：カンザワハダニ、ナミハダニはバンドを回収後、恒温器室内（23℃設定）で1週間程度観察し、種類を判断した。

**：平成はH24～R3の平均値

***：令和元年度調査地点変更

****：令和3年度調査地点変更

調査方法：9月下旬に紙バンドをほ場に設置。園あたり6バンド（1樹3バンド、2樹設置）。
11月下旬～12月上旬に紙バンドを回収後、バンドあたりのカンザワハダニ及びナミハダニ越冬
個体数を調査。同時に園あたり40短果枝を採取し、短果枝あたりのクワオオハダニ越冬卵数を
調査。

2. 防除上注意すべき事項

秋期にハダニ類の発生量が多かった園では、越冬量が多いと予想されるため、休眠期の防除を徹底する。
カンザワハダニ及びナミハダニには（1）～（3）、クワオオハダニには（3）が有効である。

（1）誘殺バンドの取りはずし

主枝や垂主枝に誘殺バンドを設置している園では、12～2月にバンドを取りはずして処分する。

（2）粗皮削り

12～2月に、カンザワハダニやナミハダニの越冬場所である粗皮を削り取る。特に、誘殺バンドを
巻き付けた部分の粗皮は必ず削り取っておく。

（3）薬剤散布

3月中旬に、マシン油97%乳剤の50～100倍液を散布する。